



SOMPO
JAPAN

NKSJグループ



CSR COMMUNICATION REPORT 2011

損保ジャパングループの社会的責任報告
CSRコミュニケーションレポート



編集方針

- 損保ジャパングループの社会的責任報告である本レポートは、過去の取り組みの成果を一時的に報告する情報開示ツールではなく、CSR経営の改善や向上に向けて、ステークホルダーとのエンゲージメントのための、すなわち未来に向けた対話を行うための重要なツールと位置づけています。
- 本レポートは、損保ジャパングループのCSR情報のダイジェストとして、CSRに対する考え方やCSR「4つの重点課題」への主な取り組み状況について、要点を絞って報告しています。課題ごとに章立てを行い、長期的スパンでのPDCAサイクルに基づく継続的改善プロセスをお伝えすることを目指しました。
- 2011年度は、2010年11月に発行されたISO26000の7つの中核主題ごとの取り組み状況と課題についても掲載しています。

- オフィシャルホームページでは、詳細な情報を必要とする専門家も含めた、あらゆるステークホルダーに向けて、網羅的かつタイムリーに情報を開示しています。また、本レポートを補完するデータなどを収めた資料編もPDFで提供しています。
- 市民社会組織からの「第三者意見」を、IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]へ依頼しました。第三者意見とそれを受けたCSR担当役員からのコメントや取り組み状況については、オフィシャルホームページに掲載します。
- 財務面・経済面に関する詳細情報は、ディスクロージャー誌「損保日本の現状2011」をあわせてご参照ください(下図参照)。

免責事項

本レポートに掲載しているCSR情報は、NKSJグループの経営方針や計画などに基づいた将来予測が含まれています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいて作成しているものです。したがって、実際の業績や活動結果は、将来の経営環境の変化によって影響を受ける可能性があります。

CSRに関する情報開示の全体像



事業活動全般についての情報開示

ディスクロージャー誌「損保日本の現状」
(発行回数:年1回)
幅広い情報を公開することによって企業の透明性を高め、ステークホルダーの皆さまからの信頼を維持・向上することを目指しています。経営内容等の企業活動全般を掲載しています。英文版として、「ANNUAL REPORT」も作成しています。

「お客さまの声白書」
(発行回数:年1回)
「お客さまの声」の現状、お客さまから寄せられた「苦情」、「お客さまの声」を活かした事業活動、「お客さまの声」に基づく改善事例を掲載しています。

損保日本のオフィシャルホームページ
「お客さまの疑問・悩みやニーズに対応できる解決ツール、窓口のひとつであること」をコンセプトに、個人・法人のお客さまに向け、商品・サービス、お手続き方法や会社情報などの情報を掲載しています。
→ <http://www.sompo-japan.co.jp>

海外グループ会社の情報 損保ジャパン中国がCSRレポートを発行し、現地での取り組み情報を開示しています
→ <http://www.sompo-japanchina.com/jp>

*1 ESG: Environmental, Social, Governance (環境、社会、ガバナンス)
*2 GRIガイドライン: 持続可能な社会に向けたサステナビリティ(持続可能性)報告書に関する、世界共通のガイドライン

CONTENTS

報告対象期間

2010年度(2010年4月～2011年3月)の取り組みを中心に、2011年度の展開や方針についても一部報告しています。

報告対象組織

損保ジャパンおよび国内・海外グループ会社、損保ジャパン記念財団、損保ジャパン美術財団、損保ジャパン環境財団、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント。一部、損保ジャパン代理店の全国組織(J-SA、AIRジャパン)の取り組みを含みます。掲載している数値の対象範囲は、特別な記載がある場合を除き、すべて損保ジャパン単体です。

英語版

NKSJグループとして別途英語版CSR報告書(PDF)を発行し、NKSJホールディングスのホームページに掲載する予定です(2011年10月予定)。

→ <http://www.nksj-hd.com/en/csr/communications/>

参考にしたガイドラインなど

- ISO26000
「社会的責任に関する手引き」
- GRI「サステナビリティ レポートニングガイドライン」第3版
- 環境省「環境報告ガイドライン」(2007年版)
- NSC「サステナビリティ 報告ガイドライン SPI報告解説書」

企画・編集

(株)損害保険ジャパン
コーポレートコミュニケーション企画部
CSR・環境推進室

- 1 編集方針
- 2 目次
- 3 事業概要
- 5 トップメッセージ～特別対談
- 10 損保ジャパングループのCSR
CSR方針
CSRの活動領域と「4つの重点課題」
ステークホルダー・エンゲージメントと4つの重点課題の絞り込み
CSR推進体制
CSR浸透のための施策と研修
ステークホルダーとのコミュニケーション
ISO26000の発行と損保ジャパンでの活用
- 15 重点課題①
気候変動における「適応と緩和」
- 17 活動レポート 01
ドキュメントマネジメントとCO2削減
- 19 活動レポート 02
生物多様性に関する総合支援サービス
- 20 活動レポート 03
干ばつリスクを対象とした『天候インデックス保険』
- 21 重点課題②
安全・安心へのリスクマネジメント
- 23 活動レポート 01
安心社会に向けた新たなサービス
- 25 活動レポート 02
心身両面からのヘルスケアサービス
- 27 重点課題③
CSR金融による社会的課題の解決
- 29 活動レポート 01
社会的課題の解決に向けた金融商品・サービス
- 31 重点課題④
地域における協働の促進
- 33 活動レポート 01
社会貢献活動の仕組みとNPOとの協働
- 35 活動レポート 02
3つの財団を中心とした企業としての社会貢献活動
- 37 活動レポート 03
世界各地の社会貢献活動
- 39 ダイバーシティの推進
- 41 損保ジャパングループのCSR課題 実績と今後の目標
- 43 国内外のイニシアティブへの参画
- 44 損保ジャパングループのCSRに対する評価・主な受賞

事業概要

損保ジャパングループの目指す企業像

「リスクと資産形成に関する総合サービスグループ」
という新しい事業像を確立し、
自由化時代に適した自由な発想とチャレンジングな姿勢で、
お客さま・代理店・マーケットに評価され続け、
株主価値を向上し続ける、確固たる存在感のある企業

損保ジャパングループの経営理念

損保ジャパングループは、

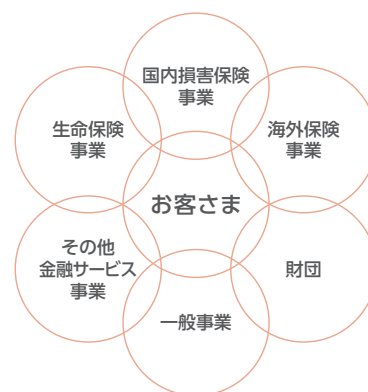
- 個人のくらしと企業活動に関わるリスクに、卓越した「解」を提供することを誇りとします
- お客さまの期待を絶えず上回るサービスの提供を通して、株主価値を創造し、社員とともに成長します
- 先進的な戦略と積極的な行動により、日本を代表する、高いプレゼンスのある企業グループでありつづけます

損保ジャパングループの事業分野

損保ジャパングループでは、国内損害保険事業、生命保険事業、海外保険事業、その他金融サービス事業、一般事業（損害保険関連事業、総務関連事業、事務代行・計算関連事業、調査・研究事業）、財団を展開しています。



取締役社長 櫻田 謙悟



会社概要

株式会社 損害保険ジャパン (2011年3月31日現在)

*1: 2011年7月1日 *2: 2011年4月1日

創業 1888年(明治21年) 10月
資本金 700億円
本社所在地 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL : 03-3349-3111
URL : <http://www.sompo-japan.co.jp>
取締役社長 櫻田 謙悟

社員数 18,708名
代理店数 45,084店
国内拠点*1 営業部・支店: 112
営業課・支社・営業所: 534
サービスセンター(事故対応サービス拠点): 281
海外拠点*2 28か国・地域、164都市

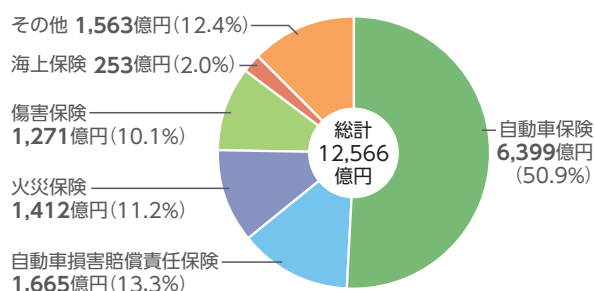
2010年度の主な経済指標

連結指標		個別指標	
経常収益	17,946億円	正味収入保険料	12,566億円
正味収入保険料	13,003億円	正味損害率*1	72.5%
経常利益	198億円	正味事業費率*2	33.7%
当期純利益	99億円	保険引受利益	△97億円
総資産額	59,907億円	経常利益	205億円
純資産額	6,659億円	ソルベンシー・マージン比率	748.6%
自己資本比率	11.1%		

*1 正味損害率=(正味支払保険金+損害調査費)÷正味収入保険料

*2 正味事業費率=(諸手数料および集金費+保険引受に係る営業費および一般管理費)÷正味収入保険料

● 2010年度正味収入保険料内訳および過去5年間の推移(連結)



(単位: 億円)

大株主

NKSJホールディングス株式会社 持株比率 100%

2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
13,866	13,687	13,081	12,909	12,566

● 海外主要ネットワーク (2011年4月1日現在)

損保ジャパンは、欧州、中東、北米、中南米、アジア、オセアニアの28か国・地域、164都市をカバーするネットワークを整備しています。現在、約4,700名のスタッフにより、保険引受業務のほか、事故対応、リスクエンジニアリングなどのサービスを提供しています。



海外事業トピックス

トルコ

損保ジャパンは、2010年11月にトルコの損害保険会社Fiba Sigorta A.S. (フィバ シゴルタ社)の99.07%の株式を取得しました。2010年12月には欧州復興開発銀行 (EBRD) の中東欧諸国における知見を活かすことを目的に、フィバ社の発行株式9.99%相当をEBRDへ譲渡しました。2011年2月には社名をSompo Japan Sigorta A.S.へ変更、成長著しいトルコにおいて一層の事業拡大を目指します。



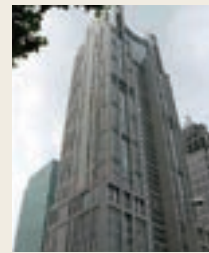
シンガポール

2010年5月、損保ジャパンはシンガポールの損害保険会社Tenet Insurance (テネット社)の全株式を取得しました。現地中堅中小企業および個人顧客を中心に、独自のマーケット戦略で展開しているテネット社の強みを活かし、東南アジア域内における一層の事業基盤強化・拡大を目指します。



中国

中国現地法人である日本財産保険 (中国) 有限公司は、日系損害保険会社として初めて、中国の都市商業銀行大手である上海銀行に上海市における損害保険代理業務を委託しました。また2011年4月には北京市における支店設立の内認可を取得しました。中国企業や個人マーケットへの取り組みを強化し、リテール事業の拡大を目指していきます。



上海銀行本店

タイ

損保ジャパンタイランドは、タイ王室系の損害保険会社The Deves Insurance Public Company Limited (テベ社)と2010年12月に提携しました。幅広い顧客を有しているテベ社への各種リスクマネジメントのノウハウ提供などを通じて、タイ市場への一層の拡大を図っていきます。

